



（ A・I ） 日本語日本文・英語英文学科 3 年次生

参加期間： 2024 年 3 月 5 日～3 月 14 日（10 日間）

I. プログラムについて

このプログラムでは台湾に行く前の事前指導が 3 回、台湾に行ってから政治大学で授業見学、模擬授業、教壇実習を行います。そしてその合間に現地の学生と交流があります。（ご飯を食べたり観光に行ったりします）

事前指導と台湾での活動に分けて詳しく説明しようと思います。

<事前指導>

事前指導は先ほども述べたように 3 回あります。

1 回目は主に実習を行うメンバーの顔合わせ、担当する授業の決定、これからの流れの把握を行います。1 回目の事前指導が終わった後、授業の方向性や教案を考え始めます。

2 回目は 1 回目で提示された課題の発表や現状報告を行い、2 回目の事前指導が終わった後、教案をさらに詳しく考えます。

3 回目は準備した教案の中から一人 15～20 分程度の模擬授業を行います。他の実習生や山本先生からフィードバックをしていただき、反省点や改善点が見つかるのでこの模擬授業をしっかりと意識することをおすすめします。

現地の先生とのやり取りは 1 回目の事前指導後から始まります。分からないことなどは連絡すればしっかりと教えてくださるので遠慮せずに聞いたほうがいいと思います。

<台湾での活動>

・授業見学

平日の大学にいる時間には基本的に授業見学を行います。現地での実際の授業を見学できる貴重な機会なので、色々な視点から授業を見学して参考にすることをおすすめします。特に学生への話し方やスライドなどがとても参考になりましたし、どの授業も面白かったです。「今日は実習生がいるから」と参加型（意見を言う機会があったり、学生と自由に話す時間があったり）の授業が多かったので、積極的に楽しんでください！ ^^

・模擬授業

私たちの時は 4 日目に、他の実習生と先生数名、現地の学生数名の前で一人 15 分の模擬授業を行いました。もうこの時には教案はほぼ完成状態にしておいて、少し不安なところなどを確認することになると思います。模擬授業後には模擬授業を受けた学生や先生からフィードバックをいただけます。

・教壇実習

台湾実習の集大成として最後に教壇実習を行います。

授業時間は 50 分×2、間に 10 分の休憩があります。一人で授業を担当する場合は 50×2 の合計 100 分、二人で授業を担当する場合は 50 分×1 です。授業が始まるとすぐに時間が過ぎていき



ます。細かく時間配分を計算しながら授業を行うこと、時間が押している時にどこを削るか、逆に巻いている時に追加でどんなことをするのか、先の先を見据えて準備することをおすすめします。

また、教壇実習後にも先生からフィードバックをいただくことができ、今後に活かすことができます。さらに授業を受けた学生からも「良かったよ」「面白い授業でした」と声をかけてもらえたので苦労して授業準備をした分、達成感が大きかったです。とても緊張すると思いますが、後悔の残らないように楽しんで頑張ってください！

Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

<授業準備について>

・教案について

教案は台湾に行く前にある程度完成させておくべきです。これは本当に重要だと思います。もちろん台湾に行ってから実際に学生とコミュニケーションを取ったり、先生からの詳しいフィードバックを聞いたりするので、現地でたくさん修正することになると思いますが、日本にいる間にどれだけ詰められているかによって台湾での修正がだいぶ楽になると思います。土日や平日の夜に観光や睡眠を優先させたいなら、日本にいる間から教案をしっかりと詰めておくことをおすすめします。また、現地の先生に「簡単すぎるよりは難しすぎるほうがいい」と言われていたので、参考にしてみてください。

・担当の先生との連絡方法について

これは私が感じただけでも入れませんが、担当の先生との連絡手段は LINE を選んだ方がよかった、と後悔しました。最初にメールで挨拶をした際、おそらく先生がこれから LINE で連絡をとるかメールで連絡をとるか聞いてくださいます。その時に私はメールを選択しましたが、LINEの方が先生も確認がしやすいと思いますし、LINEは特に写真や動画の容量制限もないのでスムーズに連絡が取れると思います。

・Wi-Fiについて

寮に Wi-Fi はありましたが回線がそこまで強くないのか、繋がりにくい時がありました。私はほとんど問題なく作業できましたが、他の実習生は Wi-Fi の調子が悪く作業ができない、という時がありました。何度も繋ぎ直すとうまく行ったりもしましたが…。なので私たちは寮の近くのスタバで 20 時まで作業するのがほとんどでした。Wi-Fi が繋がらない時もある、ということは知っておいた方がいいかもしれません。

<生活面について>

・服装について

台湾の気候は日本より少し暖かめですが、雨が降ることが多いので夜などは冷える時があります。カーディガンや軽めの上着があれば便利だと思います。また、事前指導の時に言われると思いますが、教壇実習の時はなるべくオフィスカジュアルのような服がいいと思います（教壇実習以外は普段着で OK）。スーツで教壇実習をした子もいましたが、スーツを持っていくのに躊躇い



があるなら綺麗な服を何着か持っていくことをおすすめします。実習とはいえ、学生の前に立って先生として授業をするのでカジュアルすぎない方が程よい緊張感が持てていいと思います。

・寮について

私たちの時はホテルではなく国立政治大学の寮に宿泊しました。二人一部屋で普通のホテルと変わらないくらい過ごしやすかったです。朝ごはんも毎日ついてきますが、近くに朝ごはんを食べられるお店が多いので、もし実習生だけで朝ごはんを食べにいきたい、ということだったらフロントの人に前日までに伝えれば大丈夫です。また、朝ごはんの時間も選ぶことができるので、いつもより早く学校に向かいたい、というときには時間を早めてもらうこともできました。これも前日までにフロントに伝えれば大丈夫です。教壇実習の日は早めに学校に行って準備をすることになっていたのも、その都度朝ごはんの時間が変更できるのはありがたかったです。ただ、フロントの人は日本語が話せないのも、英語で伝えるしかありません。晩御飯の後などは、チューターさんが寮まで送ってくれるのでその時にフロントの人にこう伝えてほしい、とお願いするとスムーズにコミュニケーションが取れると思います。

<持っていくといいもの>

- ① 洗濯に必要なもの（洗剤・柔軟剤・ネット等）…寮に洗濯機はありますが、洗剤はないので2～3回分ほど持っていくと便利だと思います。現地で調達することもできると思いますが、必要な分以上の量になって邪魔になると思います。ただ、洗濯機と乾燥機が一台ずつしかなく、できる時間という寮にいる朝早くか夜の洗濯機が空いている限られた時間になるので私たちは実習生みんな（4人）でまとめて洗濯をしていました。その時にネットなどがあると区別もしやすく便利でした。
- ② 常備薬…後ほど詳しく書きますが、体調を崩した時のために普段飲んでいる風邪薬などを持って行っていくのが安心だと思います。台湾の薬がダメというわけでは決してありませんが、やはり飲み慣れている薬が一番だと思うので。
- ③ パソコン・ケーブル・USB…これは本当に持って行ったほうがいいです。教案の修正はもちろん、私は教壇実習も自分のパソコン（Mac）を繋いで授業を行いました。ケーブルは自分のパソコンと学校の機材（HDMI）を繋ぐものが必要になると思います。私も用意していきましたが、差し口のタイプを間違えてしまい、結局現地の先生にお借りすることになってしまいました。USB ももし何かあった時のためにデータを保存しておけるので安心です。また、パソコンについては現地に行くまでにテザリング方法などを調べておくといいと思います。
- ④ 感想用紙…私は授業に対する学生の感想が聞きたかったので、百均で小さい感想用紙を買っていききました。授業終わりがけに3～5分程度で書いてもらいましたが、元気がもらえるコメントも多かったですし、今後に活かすこともできると思うのでおすすめします。
- ⑤ 担当の先生方へのお土産…10日間指導してくださるので日本でお土産を買っていくといいと思います。オリエンテーションが最初の方にあり、先生との顔合わせも行うのでその時が渡すチャンスかな、と思います。



＜逆にもって行かなくてもよかったもの＞

- ① バスタオル…寮にバスタオルがありました。また、朝、寮から出る時にゴミ袋などと一緒に廊下（部屋の目の前）に出しておけば清掃の人が新しいものと交換してくれます。朝ごはんをもってきてくださるのも清掃の人なのですが、清掃の人もフロントの人同様、日本語が話せないなので、ジェスチャーなどで伝えるくらいしかコミュニケーションの取り方がないので、注意してください。
- ② ドライヤー…ドライヤーも部屋に一つありました。風力も特に弱いわけでもなく、使いやすかったです。
- ③ 変圧器…コンセントの電圧が日本とは違うと聞いて、変圧器を持って行ったのですが私たちは特に使用することもなく、充電器などもそのままさして問題なく使えました。ただ、壊れる場合がある、という注意はネットなどにも書かれていたので、絶対に壊れないという保証はできませんが、参考までに。（私たちは10日間、異常は出ませんでした）

＜体調管理について＞

まず、本当に体調管理に気をつけてください…！！環境が変わるだけでもそうですが、教壇実習についての悩みや準備で睡眠時間が少なくなることもあるので自分でも知らないうちに相当な疲れが溜まります。私は10日間のうち、7日目くらいから少し体調が悪くなり（喉がゴワゴワする感じ）、8日目の昼過ぎから熱が出てしまいました。9日目に病院に行くと、まさかのインフルエンザにかかっていた。元々体調を崩しやすい上にストレスや疲れで免疫力がなくなっている時にウイルスを貰ったのかな…と勝手に思っています。なので本当に無理はしすぎないでください。体調が悪くなった時点でチューターさんに伝えるとしっかりと対応してくれますし、「今日は少し疲れているので観光はやめて休みます」と言っても全然失礼になりません。むしろ私たちの体調を優先してくださるので、遠慮せずに伝えることをおすすめします。あとはバスや電車に乗るときはマスクをつけること、こまめに手洗いうがいをすることでもある程度風邪は防げると思うので、ぜひ実践してみてください。

また、体調が悪くなった時に国際課の方にも連絡をすることになると思いますが、親身になって帰国できるか、延期滞在になった場合について等調べてくださるので安心してください。

次に病院に行くまでの過程で気をつけて欲しいことを説明します。

・保険について

前提としてですが、私は母が保険の仕事をしているため、母の勧めで学校で加入する保険とは別に個人でも保険に加入して台湾に行きました。個人で加入した保険はLINE電話が使えたのと、支払い方法の関係から、最終的に個人で加入した保険の提携病院に行くことにしました。万が一のために前もって学校で加入する保険について少し調べておくと、いざというときに安心だと思います。

・保険のサポートセンターに連絡をとるとき



実習に行く前に学校で保険に加入します。体調が悪くなった時の対応方法・電話番号などの説明も聞きます。しかし、私は電話対応していないタイプの eSIM を使用していたので、電話を使うことができませんでした。なので LINE 電話で母と連絡をとり、日本にいる母から電話をかけてもらいました。“サポートセンター←母→私”という風に母を経由してどこの病院が一番近いかなどを確認してもらいました。また、日本のサポートセンターからの連絡が来る場合はメールだったのですが、「距離や電波の関係上、案内メールが届くのに 2 時間ほどかかる可能性がある」とも言われました。体調が悪く休みたい、早く病院に行きたいのに連絡でバタバタして休めないことが辛かったので、「完全にしんどくなってから大丈夫」「今は我慢できるから大丈夫」と思わずに早め早めから情報共有することをおすすめします。

・病院に向かうとき

私は病院に向かうときチューターさん 1 人と一緒に向かいました。病院まではバスと電車で 30 分ほどかかったので、チューターさんが案内してくださり、迷うことなく病院に向かうことができてありがたかったです。ただ、チューターさんも学生で暇ではありません。チューターさん同士で私が病院に行く時間に予定がない人を探してくださるので「今から病院に行きますが一緒に行ける方はいますか？」と直前に聞くと困らせてしまう可能性がありますし、最悪 1 人で病院に行かなければならないかもしれません。なので保険会社に＊病院に行く前に予約は必要か、＊予約は保険会社の方が代理で取ってくれるのかについて聞いた方がいいです。また、予約が必要な場合、＊〇〇時に予約は可能か確認して予約が取れたら、チューターさんに「〇〇時に病院に向かうので、一緒に行ける人はいますか？」と事前に時間を伝えることをおすすめします。本当に親身になって色々調べてくださるので、お互いのためにも前もって情報共有してくださいね！

＜最後に＞

ここまで長々と書きましたが、読んでくださってありがとうございます。台湾での 10 日間は本当にあっという間で、最後に風邪をひいてしまったことが悔やまれますが、とても素敵な思い出です。これから参加する方にもぜひ、日本語を実際に教える楽しさと、台湾での日々を楽しんでもらいたいです ^^

せっかく海外にまで行って実習するからには体調に気をつけながら思う存分楽しんでください！失敗しても大丈夫！◎応援しています ^^



【台湾 101 からの景色とご飯たち】





（ I. H. ） 日本語日本文・英語英文学科 3 年次生

参加期間： 2024 年 3 月 5 日～3 月 14 日（10 日間）

I. プログラムについて

私はこのプログラムに参加して本当に貴重な経験ができたなと感じています。3 回生ということもあり、就活の関係で参加するかどうか迷っていましたが、一生に一度の機会ですから、挑戦してみようと決断し、参加を決意しました。

台湾へ行く前に事前指導が複数回あり、台湾について調べたり、教案を作成して、山本先生に指導していただいたり、現地の担当の先生にメールでやり取りしました。また 20 分ほどの模擬授業を行って、先生やメンバーに修正点や改善点をもらいます。

II. 参加希望者へのアドバイス

生活面について

- ・ 気候について。出発前の天気予報では台湾は晴れ予報で過ごしやすいと聞いていましたが、実際、大学がある市内では雨が多く、実習期間は雨や曇りが多かったです。上着など羽織れるものを持っていくのがいいと思います。
- ・ 無理はしない。私は平日の疲れから土曜日の観光は休みました。他のメンバーは全員参加すると話していたので迷いもありましたが、結果的には休んで疲れをとることができ、また教案作成をすることができたので良かったなと感じています。自分自身の気持ちを大切にしてください。
- ・ 食事について。朝は滞在している i-house から朝飯が出て、昼、夜はチューターさんが連れて行ってくれるので心配いりません。現地の食べ物は合う合わないがあると思うので、日本食が恋しいと感じるときがあるかもしれません。荷物に余裕があればカップスープやレトルトのご飯があればいいかもしれません...！
- ・ お金について。台湾では現金、特に小銭を多く使いました。学内は広いのでバスに乗ります。悠遊カードか現金（2 元）を払いましょう。i-house の中に洗濯機と乾燥機があります。洗剤と柔軟剤は自分たちで用意し、現金を払って使用できます。お金が足りなくなっても、チューターさんに言えば両替する場所に連れて行ってもらえるので心配いりません。

また、クレジットカードをキャッシュレス専用レジ（セルフオーダー）のお店で使うことができました。いくつか支払いの手段はあったほうがいいのかもかもしれません。

教案作成、教壇実習について

教案準備はなるべく日本を出発する前に詰めていくことが必要であると思います。私は中級レベルの日本語文法を担当しました。中級であったため既に初級で学んだことがある文法をいかに学習者のレベルに合わせて、易しすぎず、かつ学習しがいのある授業にするかが課題でした。

私は出発前の教案準備がおろそかになってしまっていたため、台湾で観光の時間や睡眠時間を削りながら何度も修正することとなりました。指導していただく先生は本当に親切にサポートしてくださるので、遠慮せずに不安なことや疑問はなんでも聞いて解決していきましょう。



授業では日曜日の観光で仲良くなったチューターの子たちが履修していた科目だったので、リラックスしながら教壇に立つことができました。教案は十分に用意していましたが、こちらが想定する時間をオーバーしてしまい、ペア活動の時間を削らないといけなくなってしまいました。学習者の様子を見ながら問題数を減らすように変えるなど臨機応変に対応していくことが大切であること学びました。授業後は担当の先生から、良い点や改善点などフィードバックをいただきとても参考になりました。

これを読んでくださっている皆さんは、実習に参加することの迷いや不安を抱えているかもしれません。迷っているのであれば、挑戦することをぜひおすすめします。私も実際、三回生で参加することを迷っていました。しかし、参加していなければきっと後悔していたと思います。

みなさんは一人ではありません。一緒に行く実習生が力になると思います。私は普段関わることのなかったメンバーとともに 10 日間過ごし、しんどいことも楽しいことも全てが思い出となりました。また現地のチューターさんもとても優しく、親切にしてくれて台湾がとても大好きになりました。このプログラムに参加してぜひ、充実した時間を過ごしてください。

<授業の様子>



<食べ物>





（ K. R. ） 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2024 年 3 月 5 日～3 月 14 日（10 日間）

I. プログラムについて

実習前

担当の先生を交えた事前指導が計 3 回ありました。おそらく国立政治大学を希望した学生は山本先生が担当してくださるのではないかと思います。

事前指導の 1 回目ではそれぞれどんな内容の授業を担当するのかを決め、数日後に現地で指導してくださる先生方とオンラインで顔合わせをしました。2 回目は 1 回目で課題に出された台湾史や日台関係についての発表を行い、台湾についての見識を深めました。3 回目は 1 人 15-20 分程度の模擬授業を行い、山本先生からの講評をもらう、という形でした。学生の人数にもよりますが想定よりも長くかかると思っていた方がいいかもしれません。現地の先生とは 1 度目の事前指導が終わってからメールでのやり取りが始まります。教案についての不安や疑問にも、現地の先生方は丁寧に答えてくださいました。

実習中

授業見学などを行いながら、先生に直接教案指導をしてもらいます。

授業数日前には先生方と数人の学生の前で 15-20 分程度の模擬授業を行い、それぞれからフィードバックをもらって教案を修正しました。

その後もう 1 度だけ直接先生からの指導があり、授業日を迎える、という形でした。私は 50 分×1 の授業を担当しましたが、本当に一瞬で終わってしまったので、教案に各時間配分はあくまで目安としてらえておいた方がいいです。また、授業内ではできるだけ学生との会話を中心に授業を進めていくよう伝えられると思うので、教師と学生、学生同士のグループワークなどとにかく学生が話せる授業内容にすることが大切です。

II. 参加希望者へのアドバイス

- ・教案は日本でできるだけ完成に近い状態までもっていったら台湾へ向かった方がよいでしょう。現地についてからの修正は必ずありますが、ある程度の大枠ができていないと学生とご飯を食べに行く時間や自由時間を削って教案を完成させることになります。
- ・個人のパソコンを持っている人はそれを持っていくのが一番いいと思います。iPad や国立政治大学のパソコンでもできないことはないですが、やはりスペックが劣っていたり文字が中国語で読めなかったりなどします。
- ・台湾の春は気温の変化が大きいので、ダウンまでは要りませんが厚手のパーカーなどを 1 枚持っていておくといいと思います。また大学付近はよく雨が降るそうなので折り畳み傘ももっておくと安心です。



- ・台湾に行くと必ずバスに乗ることになると思いますが、台湾のバスはかなり運転が荒いので乗り物酔いしやすい人は酔い止めを持って行くといいと思います。
- ・私たちは大学の i-house という寮に滞在させてもらったのですが、そこはシャンプーとボディーソープはありましたがコンディショナーがなかったため、日本から持っていくか、近くのスーパーでも日本の製品が置いてあるので買い足すのがおすすめです。また洗濯用洗剤などありませんでした。
- ・大学の学生とはほぼ毎日交流ができます。平日は昼食と晩御飯、土日の自由時間は観光に連れていってくれますが、教案作成を優先したい場合や休みたい場合はきちんと伝えるようにしましょう。

最後に

慣れない海外の地で大変なことも多くあるとは思いますが、必ず一生の思い出になるような最高の経験ができます。目一杯楽しんで来てください！



（ M. M. ） 日本語日本文・英語英文学科 2 年次生

参加期間： 2024 年 3 月 5 日～3 月 14 日（10 日間）

I. プログラムについて

・実習前

事前指導が3回ありました。最初は緊張していたし、不安でしたが、3回の手厚い指導のおかげで授業のイメージがしやすかったです。また、LINE で山本先生や政治大学の先生と連絡を取ることができたので、進捗情報を共有しやすく、すぐにアドバイスをいただくこともできました。日本を発つときは、「こんなに準備したんだし大丈夫」という気持ちでいることができました。

・実習中

最初に 10 日間のスケジュールを教えてください。昼食、夕食のメニュー、観光でどこに連れていってくれるのかまで教えてください。基本的にホテルにいる時以外は、チューターさんと一緒なので安心です。困ったことがあれば、なんでも相談していました。例えば、ホテルに戻って作業がしたいときは、「今日少し早く帰って、明日の準備したい」というと、快く予定を調整してくださいました。

授業見学は自分の授業のために学べるがたくさんあります。それを実践できるのが直前の模擬授業です。わたしは、そこで修正すべきところが明確になりました。その修正をし、授業前日に担当の先生とカフェで仕上げをしました。最後まで指導が手厚いので、不安なところをつぶしてから本番に挑めると思います。

II. 参加希望者へのアドバイス

一番困ったことといえば、大学の正門から日本語学科の建物へ行くまでのバスに乗る時です。小銭で 2 元必要です。私たちは、電車でも使える交通カードを購入しましたが、学校内では使えないカードもあるそうなので、購入する時は注意しましょう。

食事は、基本的にすべておいしかったです！ですが香辛料が効いていて、日本ではあまりなじみのない味もありました。ホテルでは毎日朝食が出ます。おいしいですが、昼食、夕食も連れて行ってくれるので、ずっとおなか一杯な状態です。コンビニやスーパーには、日本の商品もたくさん置いてあるため、味があまり好みでないなど食べ物に関する心配はいらないでしょう。

また、ほとんどのトイレはトイレトペーパーが流せません。注意しましょう。

Wi-Fi に関してですが、大学の Wi-Fi は学生専用のパスワードが必要なため、使うことはできませんでした。しかし、現地の学生さんが快くテザリング設定してくださいました。ホテルには、各部屋に Wi-Fi がありますが、部屋によってはうまくつなげませんでした。ホテルで作業するときは携帯でテザリング設定して使用していました。大学近くにある、スターバックスでの作業が最も快適だと思います。

チューターさんと移動するときは、たくさん話をしましょう！最初は恥ずかしいと感じるかもしれませんが、10 日間一緒に過ごしていると、とても頼れる存在になりました。別れの時はとて

国立政治大学日本語指導実習プログラム（台湾）



も寂しかったです。なぜ日本語を勉強しているのかを聞いたり、日本の観光名所を紹介したりしました。趣味が合う人は、アニメや映画など日本の文化で盛り上げられるかもしれません。話をしている中で、生活様式や大学制度の違い、食文化の違いなどの話が盛り上がりました！

友達をたくさん作りましょう！インスタをたくさん交換しましょう！刺激的な 10 日間、日本に帰ってきてからも充実するでしょう！

